



肝炎患者のおかれた 状況について考える 公開シンポジウム

5月19日

13:00 ~ 15:00
(開場 12:30)

ホテルロイヤルオリオン
2F 大宴会場
「旭の間」

肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究班では、肝炎対策基本指針において、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指すとしており、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回、一般市民、肝炎患者、医療従事者の方を対象として、肝炎患者の偏見や差別についてともに考える公開シンポジウムを下記のように開催いたします。

関心のある方に参加いただきたく思います。

研究班代表 八橋 弘
(国立病院機構長崎医療センター副院長)

プログラム

- 開会挨拶 八橋 弘
- 司会 四柳 宏
(東京大学医科学研究所 教授)
- ◆研究班報告 八橋 弘
- ◆偏見や差別に関する相談事例の紹介 米澤 敦子
(東京肝臓友の会 事務局長)
- 休憩 (13:40 ~ 14:00)
- パネルディスカッション
 - ◆司会 八橋 弘
米澤 敦子
 - ◆パネリスト 四柳 宏
梁井 朱美
(全国B型肝炎訴訟九州原告団)
及川 綾子
(薬害肝炎全国原告団)
中島 康之
(全国B型肝炎訴訟大阪弁護団 弁護士)
浅井 文和
(元朝日新聞編集委員)
- 閉会挨拶 八橋 弘

先着 200名

参加費 無料・申込み 不要

*事前の申込みは不要ですが、
座席に限りがあるため、
200名に限定させていただきます。

◆アクセス・地図



所在地

〒902-0067 沖縄県那覇市安里 1-2-21

アクセス

- モノレール「那覇空港」から「牧志駅」(15分)より徒歩3分
- バス「那覇空港」から「安里バス停」(約20分)より牧志方面へ徒歩2分

◆今後の開催予定

今回、沖縄で開催する『肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム』は、今後、下記の都市でも開催致します。

日時・場所等の詳細については、追ってご案内致します。

広島 **6月16日** 日

仙台 **8月25日** 日